

教育の成果・効果を検証するためのアンケート調査実施概要

〔平成28年2月17日〕
自己点検・評価委員会改正

(1) 目的

教育の効果を検証し、教育改善を図るため、学生・卒業（修了）生・雇用主・教員による教育の成果に関するアンケート調査を実施する。

(2) アンケート実施要領

1) 全学自己点検・評価委員会は、アンケート調査（案）を作成し、その実施を各学部自己点検・評価委員会に指示する。

なお、アンケート調査実施に当たっては、実施担当者及び対象者の負担をできる限り軽くする。

2) 各学部等において下表の要領でアンケート調査を実施する。

なお、アンケート調査用紙は、全学自己点検・評価委員会が作成した全学共通の様式を原則として使用するが、各学部等の特長により修正をしてもよい。

		学生アンケート	卒業(修了)生 アンケート	雇用主アンケート	教員アンケート
実施時期・ 周期, 回数		各授業終了（試験 実施時期）時 2年ごと	必要に応じて随時 実施 少なくとも4～6 年ごとに1回程度	必要に応じて随時 実施 少なくとも4～6年 ごとに1回程度	各授業終了（試験 実施時期）後 （学生アンケート に合わせて実施）
対 象	対 象 者	各学部・研究科・ 教育部の各学年	各学部・研究科・ 教育部の卒業・修 了後6年以内の1 学年	卒業・修了生が1 0年以内に就職した 企業・医療機関等	各科目担当教員
	人（社・医 療機関）数 （アンケート 回収目標 数）	各授業出席者20 %以上	各定員の50%程 度	10～50社・医 療機関程度	全ての科目担当教 員
配布・回収 方 法		授業担当教員が配 布・回収する。	郵送・電子メール により配布・回収 する。	郵送・電子メール により配布・回収す る。	紙媒体・電子メー ル・ウェブ等
集計・分析 作 業		各学部等自己点検・評価委員会で集計・分析を実施し、その結果を全学自己点検・評価委員会へ報告する。			

3) 各学部等自己点検評価委員会からアンケート調査の集計・分析結果の報告を受け、全学自己点検評価委員会では、大学全体としてアンケート調査結果の総括・評価を行う。

4) 全学自己点検評価委員会は、アンケート調査の分析結果を基に、新しい調査項目導入等アンケート調査の改善を図り、調査（案）を各学部等自己点検評価委員会に指示する。

5) 全学自己点検評価委員会は、調査結果は、冊子またはホームページで公表する。

(3) アンケート結果の活用

1) 全学自己点検・評価委員会は、アンケート調査の集計・分析結果を大学教育委員会に教育改善資料として提供する。

2) 大学教育委員会は、提供された教育改善資料を基に改善案を作成した場合は、全学自己点検評価委員会へ報告する。